

令和 3 年度 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
成果報告会の実施方法変更に関する WEB 説明会（補足資料）

【動画・説明資料作成】

- 対象課題：新規採択、継続、終了の全課題
- 報告内容：【動画】研究目的、研究内容、研究成果（見込み含む）、実機適用（社会実装）までのロードマップ

【説明資料】別途添付する様式の通り

※動画、説明資料はホームページにて公開をいたしますため、著作権、非公開情報の取り扱いには十分にご注意いただき作成ください

- 報告対象：本方式にて進める際は、以降は、毎年作成いただくこととなりますが、今回は初回のため、今年度の採択課題以外は過年度の成果を含めて作成ください。採択年度毎の具体的な対象は以下の通りです。なお、毎年作成いただく予定ですが、最終年度は全体総括を含むものと考えます。

採択年度	報告対象				今後の 動画作成
	H30	R1	R2	R3	
平成 30 年度	○	○	○	-	終了
令和元年度	-	○	○	○（見込み含む）	終了
令和 2 年度	-	-	○	○（見込み含む）	R4
令和 3 年度	-	-	-	○（見込みを含むが、初年度のため計画中心の発表は可）	R4、R5

- 提出方法：動画は容量が大きいいため、ストレージを用いることを想定しております。当協会のストレージは有効期限が最大 2 週間となるため、2 月 7 日の週にご案内を見込んでおります。機関等で用いているストレージサービスをご利用いただくことも可能でございます。
- その他：実機適用について、共通基盤型原子力研究プログラムは、1F 廃炉向けではないテーマも含まれているため、そのような場合は、社会実装に向けた内容とお考えください。

【WEB 説明会の主な質疑】

Q：今年度採択課題は成果報告会での報告対象ではないと思うが聴講は可能か。

A：報告対象としているのは、パネルディスカッションを含めて事業が終了する課題だが、継続課題は、例年のようなポスター発表はないが、ぜひ参加いただきたい。

また、作成した動画に対して質問がたくさんあると思われ、方法は検討中だが、動画に対する Q&A を答えるような場（コアタイムみたいなもの）を設

けられたらと考えている。

なお、初年度の課題は、成果がなかなかないと理解しているため計画が主になると思うが、動画は作っていただきたい。新規採択課題は研究期間3年の終了時には3つ動画ができるというイメージである。

Q：ファイルの提出方法は、別途指示がくるのか。

A：動画となると容量的なものありメール添付では難しいと思う。各機関のファイル提供サービスか原安協の受取用のサービスを設定するなど検討する。
改めて依頼時には、ファイルの提出方法も記載する。

Q：本日の説明資料は共有されるか。

A：動画作成のご依頼時に共有する。※今回添付しております。

Q：従来は、プログラム終了後1年間の猶予があり公開となっていた。プログラムによっては、パブリケーションあるいは知財の出願なりもあるが、今回、ほぼ研究終了と同時（研究途中）に動画を出すということで、かなり時間がないと心配しているが、どういう整理か。

A：動画を公開すると公知の事実になってしまうため、特許出願予定のものなど全部出せないのは仕方ないと思っている。それは後々、成果報告書として公開されていくと考えているため、非公開とするなど配慮をいただいて問題ない。

Q：論文についても、注意が必要である。二重に投稿や、あるいはオリジナリティの問題を問われる場合が出てくると思うが、それは各自工夫するということか。

A：そのとおり。英知事業として、成果はなるべく旬のうちに出したいという点と、一年寝かしてから出してしまうと次の研究に活かせないという点が、ずっと懸念となっており、改善したいと考えたものである。

Q：先に投稿してくださいということか。

A：論文や特許出願予定のものは、全部出せないところも出てくると思っており、そこは致し方ないため、そのような理解で結構です。

Q：その点よりも、終了年度の3月に成果報告会をやるということの方が重要だという、そういう判断ということか。

A：なるべく早くお届けしたいと思っている。

Q：例えば、6月とか7月ではなく、3月ということか。

A：3月に行きたい。

Q：確認だが、今回は3月中旬に開催とういことだが、実施時期を1~2ヶ月後

ろにずらすという検討はないのか。今回決定したら、次回以降ずっと3月中旬の開催なのか。例えば、2ヶ月後ろにずらすと、もっと旬な成果などが出せるので改善できる気がするが。

A：今年、3月中旬で開催した上で、よくなかったなど見直すこともあるが、3月に開催する一つの理由は、確かに成果はまだ終わってないところも出さなければいけないが、パネルディスカッションの形で、ニーズの方と意見交換することで、3月に一応の終了をすると、次の募集が始まっている時期でもあるので、次の募集につながるのではないかという期待もあり、そこを意識して3月開催とした。6月にしてしまうともう次年度募集に間に合わないため、終了年度の3月ということにしている。これは一度やってみて、あまりにもマスキングばかりで全然データが出てこないということになると、また改善していかないといけないかも知れないが。まずは3月開催で考えている。

Q：まずは3月開催で不具合あれば変更ということか。

A：はい、それは新たな課題として検討することとなる。

Q：説明いただいた情報が、コンパクトにまとまった資料、つまり年度ごとのスケジュールで、3年プログラムの場合は3つ動画ができることになる等を作成してくれないか。説明を聞いて全貌が理解できたところがある。これを他の担当者にも伝えたい。原安協あるいはCLADSで作られたものがあると安心して渡せる。

A：説明会1回目、2回目の質疑を踏まえ、今回も説明を変更しており、今回のものをオンラインで流すが、本日の質疑は説明に反映できないため、Q&Aなど作成し、動画はどう作るか、毎年作るので今年度採択分の課題についてはR3、R4、R5と3本できるようになる等のことを、一緒につけることで示したい。

Q：11月はじめに開催された英知WSそれとの差別化はあるのか。

A：11月のWSは、R3年度採択課題を対象に、研究計画を発表してもらい、初期段階でニーズ側の意見を聞いておくとより良い方向に研究が進むだろうと期待し、実施している。

成果報告会は、終了した課題にどのような成果が出たかを一般からも含む参加者に対し発表してもらい、広く周知することを目的としている。新型コロナの影響もあるが、JAEAが主体となることで、少しやり方を変えて成果を広く公開しつつ、ニーズ側にも届けようというように主旨は変わったが、基本的には成果を報告するのが、成果報告会で、当該年度の採択課題の研究計画を発表するのがWSとなる。

Q：R3 年度採択は成果報告会では発表しないということか。先ほど R3 年度採択分成果報告会で発表するような話をされていたが。

A：R3 年度採択課題については、動画は作成してもらうが、パネルディスカッションの発表とは対象になっていない。成果報告会の場でパネルディスカッションは R2 年度終了課題、R3 年度終了予定課題を対象としている。参加はいただき、コアタイムとして、動画に対する Q&A セッションなどを考えている。

Q：R3 年度採択課題は、さきほどの説明では、成果は多くないであろうから、研究計画的なところを話すようなことになるのではないかとあったが、そういう認識でいいか。

A：11 月のワークショップは、事業が始まったばかりで、これからという感じであったが、見通しなども含めて少し見えてきて、あるいは進んで成果の一部ができたというところもあるので、そういったところを含めて説明いただければと考えている。

Q：ここでいう終了の定義は単年度契約なので、各年度、全課題は終了という意味では全課題出す。パネルディスカッションは、3 年間もしくは 2 年間という計画があった場合、その計画が終了した課題がパネルディスカッションに参加するという理解でいいか。

A：3 年なら 3 年間の全部終了したものがパネルディスカッション対象。継続課題は動画だけとなる。

以上